

四月二八日の意味を考え 辺野古への基地移設に反対する 歴史学関係者の集会

政府は、昨年、多くの批判を顧みず「主権回復式典」を開催しました。わたしたちは、歴史学の研究と教育に携わる立場から、サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約、外国人登録法が発効した四月二十八日がもつ意味を改めて考え、辺野古への米軍基地移設に反対する集会を開催いたします。奮ってご参加下さい。

櫻澤誠「沖縄戦後史のなかの四・二八」

鄭栄桓「対日講和と植民地支配責任——在日朝鮮人史から問いなおす」

吉田裕「国際社会の中で孤立する日本——慰安婦・靖国参拝問題を中心に」

山田朗「改憲路線と『教育再生』」



日時：2014年4月28日 午後6時半～8時半

会場：明治大学 リバティータワー 10階1103教室

主催：歴史学研究会、歴史科学協議会、歴史教育者協議会

問合せ先 〒101-0051 千代田区神田神保町 2-2 千代田三信ビル 3F 歴史学研究会